令和7年度

東区 区域まちづくり事業 進捗確認シート

1 基本情報

事業名称	歴史・文化の発掘・発信　郷土愛醸成事業				
事業目的	市民・団体等と行政の協働のもと、区民が文化・歴史にふれられる各種事業を実施することで、地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進を図る。東区内の見どころを歩きながら楽しむことができる「東区わくわく散策マップ」等を活用し、地域の情報を発信することで、区域の散策を通じた東区の地域資源に対する関心の向上、世代間交流の促進及び健康増進等を図る。				
事業概要	(1)ひがしチャレンジアート事業（区内の未就学児施設、高齢者施設等に芸術家を派遣し、芸術にふれあえる機会を提供） (2)区域情報発信（東区わくわく散策マップに係る冊子、案内看板、アプリケーション等の管理） (3)東区政策会議連携事業（東区かるた体験会の実施、ふれあい文化祭への出展） (4)東区みんなの笑顔で作るモザイクアート				
実施主体	東区役所企画総務課	実施場所	(1)保育施設、高齢者施設、障害者施設等（ひがしチャレンジアート事業） (2)東区役所（区域情報発信事業） (3)東区内（東区政策会議連携事業） (4)東区役所（東区みんなの笑顔で作るモザイクアート）	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

			R4	R5	R6	R7
活動指標	事業（イベント）に参加いただいた、または事業成果物を活用いただいた区民の数（のべ数）	目標	－	－	3000	3000
		実績	－	2832	3609	4647
成果指標	区民アンケート設問「東区は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか」における「そう思う計」回答率		R4	R5	R6	R7
		目標	－	－	50	54
		実績	－	－	88.6	72

3 事業評価

決算額　1,259,079　円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進には公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。		東区みんなの笑顔で作るモザイクアートは既存の商標権登録済みロゴマークのデザインを活用し、区庁舎の余剰スペースに設置するなど、現在区が有する資産を活用し、効率的かつ効果的な事業遂行に努めた。		複数の事業アプローチを組み合わせることで、幅広い世代や属性の区民に広く事業効果を波及させることが出来、地域固有の歴史の発掘・発信、継承及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進について一定の政策効果を得られたと思料される。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
東区政策会議からの提案・企画を受け事業を実施している。実施の過程においても、区政策会議構成員はじめ市民・団体等との協働により事業を実施している。		「基本方針4.歴史・文化をつむぎ、育むまち」のゴールである「歴史・文化に出会える」に関する歴史発信や文化交流が行えている。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	事業参加者数の更なる増加	今後の方向性	継続
対応方針	効果的な広報手段の利用や多様な主体との連携により認知度向上をはかる。また、事業間のシナジー発揮に向けたスキームの検討等を実施し、事業全体の魅力向上を通じて事業参加者数の更なる増加を図る。		